10月30日 金曜日 1年生 算数『ひきざん（2）』








算数科：「ひきざん（2）」（1年生）

本校では、「自ら学び、対話を通して考えを深める児童の育成」を目指し、全校で算数科の研究を進めています。今回は1年生の教室で、繰り下がりのある「ひきざん（2）」の研究授業を行いました。

今回の授業では、「13−9」という計算に挑戦しました。これまでに学習した「10といくつ」という考え方をヒントに、子どもたちは手元のブロックや図を動かしながら、自分なりの解き方を一生懸命探りました。すると、子どもたちの工夫から素敵な「さくせん」がたくさん生まれました！

①「1列さくせん」：一つずつ順番に引いていく方法
②「バラバラさくせん」：まず3を引いて10にし、10から残りを引く方法
③「10ドンさくせん」：10から9を引いて1を作り、残っていた3と合わせる方法

一人で考えた後は、友達と自分のブロックや図を見せ合いながら「どんなふうに考えたの？」と交流しました。「自分と同じ考えだ！」「そのやり方、すごく簡単！」と、友達のアイディアに共感しながら、楽しそうに考えを広げていました。答えを出すだけでなく、「どうやって考えたのか」を言葉や図で伝え合い、多様な見方に触れることで、算数の面白さや深さを実感できた充実した時間となりました。今後も、子どもたちが「算数って楽しい！もっと考えたい！」と目を輝かせて学べる授業づくりに、取り組んでまいります。